

学会企画シンポジウム 4

通常学級において学習に困難を抱える子どもの自己調整を考える

企画・司会・話題提供：岡田 涼（香川大学）

学習に困難を抱える児童・生徒の動機づけとその支援

企画・指定討論：伊藤崇達（九州大学）

話題提供：久坂哲也（岩手大学）

学習困難者に対するメタ認知的支援の在り方と課題

話題提供：涌井 恵（白百合女子大学）

学習困難を含む多様な児童・生徒の学び方支援と
授業の構造

指定討論：海津亜希子（明治学院大学）

企画趣旨：

学校では多様な児童・生徒が共に学んでいる。特別支援学校や特別支援学級だけでなく、通常学級でも様々な学習面のニーズのある児童・生徒がいる。従来、学習面のニーズのある児童・生徒の指導や支援については、特別支援教育の視点から検討されてきた。一方、学習面での児童・生徒の理解や支援に関しては、動機づけやメタ認知など自己調整学習に関する理論的視点から研究が進められてきた。近年、学習面のニーズのある学習者に関して、自己調整学習の視点から捉えた研究も増えてきている。しかし、日本において、学習に困難を抱える子どもに対して自己調整学習の視点から捉えた研究は少なく、特に通常学級での支援に関しては、研究面でも実践面でも喫緊の課題の一つである。本シンポジウムでは、通常学級において学習に困難を抱える児童・生徒の学習をいかに理解し、支え得るかについて考える。動機づけやメタ認知などの自己調整学習に関する理論的立場から、今後の研究と教育実践の方向性を探る。